

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



「祖父母ふれあいデー」のご参加ありがとうございました!

台風一過、秋晴れの十日、「祖父母ふれあいデー」がありました。登園時、おじいちゃんとおばあちゃんの手を繋いだあつくん（仮名）の表情が心なしか緊張して見えたのは、自分がおじいちゃんをスコートしている気分だから・・・？らしいちゃん（仮名）の朝の挨拶がいつもより照れくさそうなのは、おばあちゃんと一緒に遊ぶおじいちゃんや、おばあちゃんに見せる表情は、どうやら普段とはまた少し違うようですね。お忙しい中のご参加、本当にありがとうございます。（都合等でおじいちゃんやおばあちゃんに温かい関わりにも感謝いたします。）



ですが、十歳位までには、性「が際立つようになり、私たちの目に映るようになつてきます。丈夫です。その時のために「芽」を、今、大事に育てている段階です。情報が氾濫し、子育てが本当に難しい時代になりました。今こそ家族や地域の支えが必要ですね。かわいいお孫さんたちのため「未来の世代」を力強く支えて下さいませ。ようお願ひいたします。

と、ついでに、おじいちゃんや、おばあちゃんに「おじいちゃんや、おばあちゃんに温かい関わりにも感謝いたします。」と、ついでに、おじいちゃんや、おばあちゃんに「おじいちゃんや、おばあちゃんに温かい関わりにも感謝いたします。」



運動会観覧マナーを附属の自慢に!

広いとは言え、この園庭で運動会をするにはかなり工夫がいるのでしょうか？更には応援して頂くための観客席が設けられ、沢山の方に来ていただけたらとありますが、一体どんな様子になるのか、想像もつきません。おそらくは、お互いの「ゆずりあい」精神無くしては成り立たないことでしょう。「附属幼稚園の運動会が見たい！」俄然、楽しみになってきました。アピールできる自慢探しをしているところ。これもその一つになるかも知れません。

フラフープ、できるようにになりました!
大人用の直径の大きなものを使うと、意外と簡単にコツをつかめました。（ヤッター）できるとは全く思っていなかったもので、自分でも驚いています。幾つになってもできないことができるようになるのは嬉しいものです。子どもの気持ちがよくわかりました。
私が「達成感」を得られたのは、伊東先生が大人用のフラフープを持ってきて貸してくれたからです。何事も、本人の意欲が沸いた時に、タイムリーなサポートが得られると、越えられそうにない壁が乗り越えられたりするものですね!



入園児募集が始まりました。

大分大学は、国民の税金から多額の運営資金を頂く「国立大学法人」です。きっちり定員を満たし、しっかりと人材を育成することで、国民に利益を還元することが求められています。従って、定員に満たないことは、附属幼稚園の存続に関わる重大な危機となり得ることを、どうぞお知りおき下さい。

今年度は、是非定員以上の出願者を集めたいと考えています。4歳児さんはやや集まりにくいとのことなので、大変危惧しています。何らかのアピールが必要です。

そこで、来春大分県に転入予定の方などが、来園しなくても園の保育環境がわかるようにと、後援会のご支援のもと、「ストリートビュー」を導入しました。ネットで附属幼稚園を検索すると閲覧できます。ホームページからも入れるようにセットアップしました。

どうぞ、保護者の皆様、「入園児募集」に、お力添え下さいますようお願い致します。

園「のストカリを！アトピュル！」で